

5 農林水産業の振興と社会基盤づくり

(1) 農林水産業の振興

① 農業・畜産業・土地改良

○飼料用米等拡大支援事業（生産振興課）

102,000千円（当初予算とあわせ 341,000千円）
（H28当初 239,000千円）

米価の安定や飼料用米の需要増等に対応するため、新規需要米や麦・大豆等への作付の転換を推進します。

なお、6月補正予算では、支援面積を拡大します。

[事業内容]

- ・新規需要米生産支援事業 91,100千円（当初予算とあわせ 250,500千円）
実施予定面積：3,030ha（当初予算とあわせ 11,200ha）
助成金額：主食用品種 3,000円/10a
主食用品種以外 1,500円/10a
- ・麦、大豆等への集団転作に対する助成 10,900千円（当初予算とあわせ 89,400千円）
実施予定面積：220ha（当初予算とあわせ 1,430ha）
助成金額：4,000円/10a（固定団地型）
11,000円/10a（ブロックローテーション型）

○ちばの次世代農業経営体育成事業（担い手支援課）20,000千円（H28当初 10,000千円）

個人経営が多い農業経営体について、経営者能力の向上と法人化による経営体質の強化を図るため、専門家の派遣、法人化等に要する経費に対する助成などを行うとともに、県の次代を担う農業経営者を養成するため、新たに農業経営塾を開設します。

[主な事業]

- ・法人化に向けた専門家の派遣 7,970千円
- ・法人化等に係る経費の支援 4,000千円
- ・（仮称）ちばアグリトップランナー経営塾の開講【新規】7,000千円

○土地改良事業（耕地課） 3,585,792千円（当初予算とあわせ 14,806,507千円）
（H28当初 15,173,180千円）

農業用排水施設等の生産基盤整備、水田の区画整理を行う経営体育成基盤整備事業、地すべり対策等の農地保全・災害防止対策などを行います。

なお、6月補正予算では、骨格予算に計上していない新規着手分の予算を計上しています。

・補助事業 3,393,792千円（当初予算とあわせ 9,949,823千円）

[主な事業]

・県営用排水改良事業 835,300千円

用水の安定供給、排水条件の改良により、良質な農産物の安定生産を図るため、農業用排水施設の整備等を行います。

・経営体育成基盤整備事業 1,639,640千円

担い手への農地集積を促進し、経営規模の拡大を図るため、水田の大区画化などの基盤整備を行います。

・農地防災事業 713,600千円

自然災害による農地等の被害を未然に防止するため、防災対策工事を行います。

・単独事業 192,000千円（当初予算とあわせ 781,384千円）

[主な事業]

・地すべり対策事業 119,000千円

・土地改良基礎調査事業 50,000千円

○農林総合研究センター再編整備事業（担い手支援課）（債務負担行為 3,152,000千円）
（H28当初 69,859千円）

施設が分散し、かつ老朽化が著しい農林総合研究センターについて、新品種の開発や新たな栽培技術等の確立に向けて効率的な研究体制を整備するため、施設を集約して建て替えます。

[内 訳] 新本館建築工事 3,114,519千円

工事監理等業務委託 36,504千円

[供用予定] 平成31年度

○野生鳥獣総合対策事業（自然保護課） 29,800 千円（当初予算とあわせ 358,500 千円）
（H28 当初 325,703 千円）

市町村の捕獲活動をさらに促進するため、捕獲事業に対する助成を行うとともにニホンザルの適正な管理のため、群れの一斉調査を実施します。

[事業内容]

- 1 野生獣管理事業補助金 20,340 千円
 - ・イノシシ 12,000 千円
 - ・シカ 8,100 千円
 - ・キョン 240 千円
- 2 ニホンザルの群れの一斉調査 9,460 千円

○「房総ジビエ」活用普及事業（流通販売課、農地・農村振興課）
4,780千円（H28当初 15,000千円）

農作物被害の半分を占めるイノシシをはじめとする有害獣を地域資源として有効活用するため、不足する解体作業者の育成を行うとともに、新たなジビエ料理提供飲食店の拡大に向けた講習会の実施や、「房総ジビエフェア」の開催等により、消費拡大を図ります。

[事業内容]

- ・野生獣肉の食肉利活用に向けた体制づくりの検討 100 千円
- ・獣肉解体作業者の育成研修 1,680 千円
- ・「房総ジビエ」普及事業 3,000 千円

○ちばの植木生産拡大事業【新規】（生産振興課） 2,000 千円

県農産物の輸出主力品目である植木のさらなる輸出拡大を目指し、輸出意欲のある生産者を支援するための専門家による相談や研修を実施します。

[事業内容]

- ・県産植木の輸出に関する相談窓口の設置
- ・県産植木の輸出に関する研修会の実施

○「世界に飛び出せ千葉の農林水産物」輸出促進事業（流通販売課）

6,000千円（当初予算とあわせ 41,250千円）

（H28当初 36,400千円）

県産農林水産物の輸出を拡大するため、知事によるトップセールスを実施するとともに、輸出に取り組む生産者・団体への支援を行います。

〔事業内容〕

- ・海外における知事トップセールス 2,000千円

有望な輸出先である東アジア・東南アジア地区において、知事のトップセールスを実施します。

- ・千葉の農林水産物輸出促進事業（補助金） 4,000千円

海外販路の拡大を図るため、輸出に取り組む生産者等に対して支援します。

従来ソフト事業を対象としていましたが、新規にハード事業を対象とします。

〔実施主体〕 市町村、農協、漁協、営農組織等

〔補助率〕 1/2以内

〔対象事業〕 輸出向け生産・出荷調整設備、検疫対策防除・出荷調整設備等

○千葉県園芸産地パワーアップ事業（生産振興課）

419,000千円（当初予算とあわせ 807,000千円）

園芸産地が地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、意欲のある農業者等が高収益な作物・栽培体系に転換を図るために行う集出荷施設の整備や農業機械のリース導入に対し助成します。

〔補助率〕 1/2以内

○ちば・いちご産地活性化事業（流通販売課） 8,000千円（H28.9月補正 8,000千円）

千葉県のいちご狩り園に多くの観光客を誘致するため、新品種「チーバベリー」のPR事業を実施するとともに、いちご狩り園における外国人観光客の受入体制を強化します。

〔事業内容〕

- ・ホテル・飲食店等と連携したフェアの開催【新規】 3,055千円

- ・外国人観光客受入れ環境の整備（研修会の実施、多言語版パンフレット作成等）【新規】 4,645千円

- ・地域イベント等との連携によるPR（試食イベント等） 300千円

○新品種落花生生産産地支援事業【新規】（生産振興課、流通販売課） 6,700千円

落花生新品種の平成30年のデビューを契機に、県産落花生の生産販売を推進するため、新品種のPRや新品種を活用した商品開発を行うとともに、種子生産への省力化機械の導入を進め、良品質落花生の生産を拡大します。

[事業内容]

・新品種の愛称公募と県産落花生のPR	1,140千円
・新品種を活用した商品開発	4,500千円
・新品種の種子生産への省力化機械の導入実証	960千円
・新品種推進部会の設置	100千円

○果樹（びわ・かんきつ）園を活用した地域活性化事業【新規】

（生産振興課、流通販売課）8,600千円

急傾斜地で栽培されている「びわ」・「かんきつ」について、パイプハウスで栽培するモデル園を平地に設置することで、労力削減を図り、併せて、観光に適した栽培の実証や、体験メニューを検討し、千葉県フルーツ狩り園への観光客の誘致による地域活性化に取り組みます。

[事業内容]

・果樹（びわ・かんきつ）再生協議会の設立・運営	3,600千円
・モデルフルーツ園の開設	4,000千円
・フルーツ狩り体験メニューの検討	1,000千円

○高病原性鳥インフルエンザ対策事業（畜産課） 22,430千円

平成29年3月24日に発生した、高病原性鳥インフルエンザのまん延を防止するため設定した移動・搬出制限により損失を受けた養鶏農場に対し、売上の減少等に係る補償金を支払います。

② 林業

○森林整備事業（森林課） 160,774千円（当初予算とあわせ 238,441千円）
（H28当初 235,703千円）

県内の森林整備を促進するため、間伐に要する経費に対し助成します。

[事業内容]

森林吸収源対策間伐促進事業 160,774千円

森林組合等が計画的・集約的に実施する間伐事業に対し助成します。

[事業主体] 千葉県森林組合等

[補助率] 7/10 以内（国 3/10、県義務 1/10、県任意 3/10）

③ 水産業

○漁港建設事業（漁港課） 880,400千円（当初予算とあわせ 2,960,935千円）
（H28当初 2,792,435千円）

水産物の生産及び流通機能の強化を図るため、防波堤等の漁港施設を整備するとともに、漁港の老朽化対策や耐津波対策等を推進します。

なお、6月補正予算では、骨格予算に計上していない新規着手分の予算を計上しています。

[主な事業]

- ・拠点漁港整備事業 255,000千円（当初予算とあわせ 796,400千円）
- ・漁港漁村基盤整備事業 87,300千円（当初予算とあわせ 309,600千円）
- ・水産基盤ストックマネジメント事業 480,800千円（当初予算とあわせ 1,016,000千円）

○藻場面積調査事業【新規】（漁業資源課） 15,000千円

近年、本県沿岸でアワビやイセエビの生息場所である藻場が消失していることから、現在の藻場の状況を把握し、効果的・効率的な対策を検討するため、航空写真等を用いた実態調査を行います。

[調査地区]

平成29年度：内房地区

平成30年度：外房地区

○県産水産物加工・流通・輸出拠点施設整備事業【新規】（水産課） 30,360千円

漁業者の販売収益の向上や水産加工品の輸出拡大を図るため、消費者ニーズにあった商品開発や輸出に対応した衛生管理を行う加工施設の整備に係る経費を助成します。

[事業主体] 千葉県漁業協同組合連合会

[補助率] 国2/3以内、県1/10以内

[設置場所] 銚子漁港

[総事業費] 847百万円

[事業期間] 平成29年度から平成32年度

(2) 社会基盤づくり

○道路ネットワーク事業（県土整備政策課、道路計画課、道路整備課、道路環境課）

19,261,546千円（当初予算とあわせ 59,708,997千円）（H28当初 60,608,474千円）

[当初予算・前年度経済対策補正とあわせ 66,126,119千円（H28同 61,158,474千円）]

（債務負担行為 1,222,000千円）

県民生活の利便性向上を図り、道路交通の安全・安心を確保するとともに、県内経済の活性化や観光振興につなげるため、多様な交流・連携を支える道路ネットワークの整備を進めます。

なお、6月補正予算では、骨格予算に計上していない新規着手分の予算を計上しています。

・補助事業 11,919,126千円（当初予算とあわせ 27,592,968千円）（H28当初 28,338,184千円）

[当初予算・前年度経済対策補正とあわせ 32,943,090千円（H28同 28,588,184千円）]

[主な事業]

・北千葉道路整備事業（印西市～成田市間）	1,685,000千円
・圏央道インターチェンジへのアクセス強化事業	541,000千円
・外環道インターチェンジへのアクセス強化事業	170,000千円
・ふさのくに観光道路ネットワーク事業	378,000千円
・連続立体交差事業	2,695,195千円
・交通安全施設整備事業	1,295,545千円

・単独事業 7,342,420千円（当初予算と合わせ 17,967,029千円）

（H28当初 17,471,290千円）

[主な事業]

・舗装道路修繕事業	2,096,000千円
・交通安全施設整備事業	594,700千円
・道路改良・橋りょう架換事業	3,136,570千円

○街路整備事業〔再掲〕（道路整備課） 4,708,455千円（当初とあわせ 10,821,392千円）

（H28当初 10,704,850千円）

都市における交通の円滑化や安全確保のため、鉄道との立体交差や道路の拡幅などを進めます。

なお、6月補正予算では、骨格予算に計上していない新規着手分の予算を計上しています。

[主な事業]

・新京成線連続立体交差事業（鎌ヶ谷市）	1,525,363千円
・東武野田線連続立体交差事業（野田市）	1,288,832千円
・藤崎茜浜線（習志野市）	1,271,000千円

○交通安全施設整備事業[一部再掲] (道路環境課・警察本部交通規制課)

3,149,862千円 (当初予算とあわせ 7,207,192千円)
(H28当初 7,395,861千円)

交通事故を防止するため、歩道等の整備、交差点改良や信号機・道路標識の設置等を行います。
なお、6月補正予算では、骨格予算に計上していない新規着手分の予算を計上しています。

[事業内容]

・補助事業 2,035,223千円

歩道整備、交差点改良等 1,295,545千円

信号機新設、信号機改良、信号柱更新等 739,678千円

・単独事業 1,114,639千円

歩道整備、交差点改良等 594,700千円

信号機新設、信号機改良、信号柱更新等 519,939千円

○港湾事業(県土整備政策課、港湾課) 809,590千円(当初予算とあわせ 2,610,460千円)
(H28当初 2,452,062千円)

[当初予算・前年度経済対策補正とあわせ 3,292,660千円(H28同 2,452,062千円)]
(債務負担行為 138,000千円)

物流拠点としての港湾機能の強化や耐震補強を進めるとともに、県民が海辺に親しむことができる環境づくりを進めます。

なお、6月補正予算では、骨格予算に計上していない新規着手分の予算を計上しています。

・補助事業 652,000千円(当初予算とあわせ 1,421,000千円)
(H28当初 1,486,000千円)

[主な事業]

・千葉みなと緑地整備事業 162,000千円

・単独事業 157,590千円(当初予算とあわせ 649,460千円)
(H28当初 583,562千円)

[主な事業]

・港湾維持事業 22,090千円

・港湾海岸整備事業 43,000千円

○千葉港千葉中央埠頭の機能強化事業【新規】〔再掲〕（港湾課） 279,000千円
【特別会計港湾整備事業】

千葉港千葉中央埠頭において、老朽化の著しいコンテナターミナルのガントリークレーンを更新するとともに、完成自動車取扱量の増加に対応するため、一時的に貨物を保管する野積場の拡張整備を行います。

[事業内容]

- ・ガントリークレーン1号機整備事業 50,000千円
- ・野積場拡張整備事業 229,000千円

○都市公園整備事業（県土整備政策課、公園緑地課）

649,150千円（当初予算とあわせ 1,423,762千円）
（H28当初 2,132,030千円）

県民の憩いと自然にふれあう場や、スポーツ・レクリエーション施設として、都市公園の整備を進めます。

なお、6月補正予算では、骨格予算に計上していない新規着手分の予算を計上しています。

- ・補助事業 438,750千円（当初予算とあわせ 895,430千円）
（H28当初 1,581,700千円）

[主な事業]

- ・市野谷の森公園整備事業（流山市） 102,000千円
- ・八千代広域公園整備事業（八千代市） 21,600千円
- ・県立都市公園長寿命化対策事業 197,150千円

- ・単独事業 210,400千円（当初予算とあわせ 518,332千円）
（H28当初 540,330千円）

[主な事業]

- ・県立都市公園長寿命化対策事業 209,400千円

○公営住宅建設事業（住宅課） 818,680千円（当初とあわせ 2,106,564千円）
（H28当初 2,069,765千円）

住宅に困窮する低所得者向けに、低廉な家賃で良質な住宅を供給するとともに、既存住宅のバリアフリー化など高齢者等に配慮した住宅の整備・改修を計画的に進めます。

なお、6月補正予算では、骨格予算に計上していない新規着手分の予算を計上しています。

・補助事業 795,042千円（当初とあわせ 2,004,481千円）
（H28当初 1,963,789千円）

[主な事業]

- ・佐津間県営住宅整備事業（鎌ヶ谷市）[新規] 13,840千円
- ・改善等事業 725,551千円

・単独事業 23,638千円（当初とあわせ 102,083千円）
（H28当初 105,976千円）

○市町村水道総合対策事業補助金（水政課） 2,964,000千円（H28当初 2,983,000千円）

県内の水道料金格差を是正し、住民の負担を軽減するとともに、事業体の経営の健全化を図るため、市町村等が経営する水道事業に対し補助を行います。

[補助対象]

前年度の給水原価が基準給水原価（県営水道の前年度の給水原価）を超える水道事業

[補助金算定方法]

補助金額＝限度額－控除額

限度額：下記①と②のいずれか低い額

①市町村の一般会計から水道事業会計へ高料金対策として繰り出す額

②（前年度給水原価－基準給水原価）×前年度有収水量×1／2

控除額：供給単価、財政力指数、運営費に応じて限度額から控除